

果樹を加害するカメムシ類の発生が増えてきています 果樹園内への飛来に注意してください

[現在の発生状況]

- ① 9月中旬現在、笠間市の果樹園内に設置した予察灯におけるカメムシ類の直近1か月間(8月11日～9月10日)の誘殺数(本年値14,250頭、平年値7,607頭)は平年よりやや多い～多い(図1)。ツヤアオカメムシは平年より多く、チャバネアオカメムシは平年並～やや多く、クサギカメムシは平年並である(データ省略)。
- ② 9月中旬現在、かすみがうら市の果樹園内に設置した予察灯におけるカメムシ類の直近1か月間(8月11日～9月10日)の誘殺数(本年値1,980頭、平年値957頭)は平年よりやや多い(図2)。ツヤアオカメムシは平年より多く、チャバネアオカメムシは平年よりやや多く、クサギカメムシは平年並～やや多い(データ省略)。

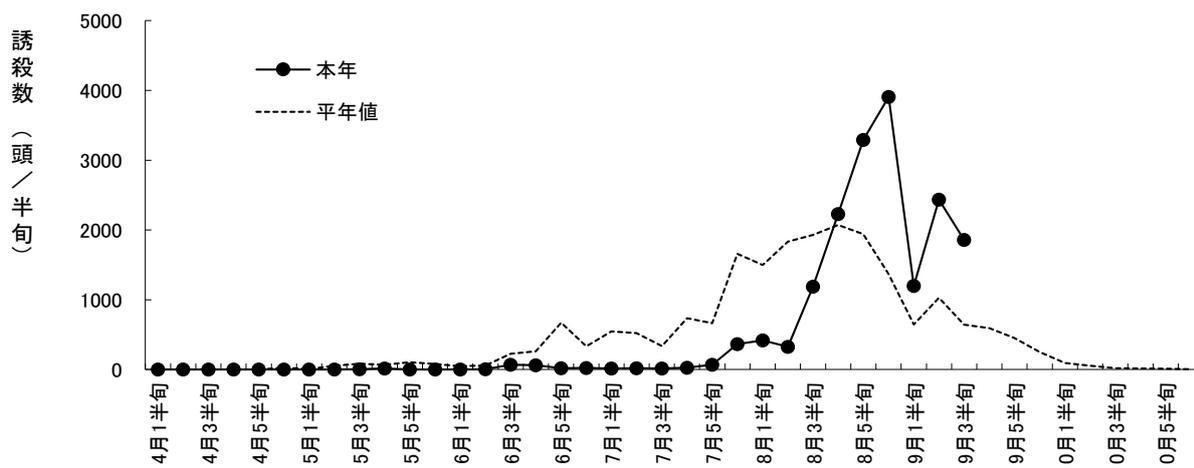


図1 果樹カメムシ類の予察灯(笠間市)への誘殺数

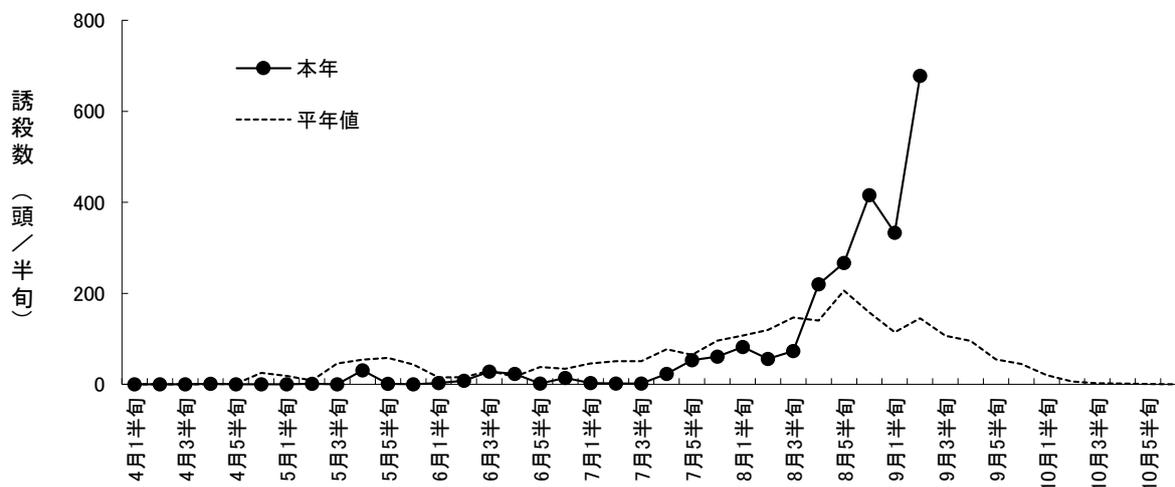


図2 果樹カメムシ類の予察灯(かすみがうら市)への誘殺数

[防除対策]

- ① カメムシ類の発生時期や発生量は地域や圃場によって異なるため、定期的に圃場全体を確認し、果樹園内で発生を確認した場合は、活動の鈍い早朝に薬剤防除を行う。
- ② 薬剤防除の際は、ラベルをよく確認し、収穫前日数等に十分注意するとともに、農薬の飛散防止に注意する。
- ③ 今後、収穫期を迎えるカキやリンゴ等の圃場では、カメムシ類が飛来するおそれがあるので注意する。



写真1 チャバネアオカメムシ



写真2 ツヤアオカメムシ



写真3 クサギカメムシ